

SIHD

REPORT

池田泉州ホールディングス
ミニディスクロージャー誌

2020.3

03ページ

第4次 中期経営計画の進捗

05ページ

2025年大阪・関西の飛躍の年に向けて
当社グループのありたい姿
「Vision'25」を策定

07ページ

イベント開催報告

大阪・関西の未来を拓く
“Osaka Innovation Meeting”を開催

CONTENTS

- 02 ごあいさつ
- 03 第4次中期経営計画の進捗
- 05 2025年大阪・関西の飛躍の年に向けて
- 07 大阪・関西の未来を拓く“Osaka Innovation Meeting”を開催
- 09 企業価値の向上を支えるESG/SDGsへの取り組み
- 11 2019年度の業績
- 13 株主の皆さまへ



S I H D



経営理念

『幅広いご縁』と『進取の精神』を大切に、
お客様のニーズに合ったサービスを提供し、
地域の皆様に『愛される』金融グループを目指します。

経営方針

- 1 人と人とのふれあいを大切にし、
誠実で親しみやすく、
お客様から最も『信頼される』
金融グループを創ります。
- 2 情報収集と時代の先取りに励み、
先進的で高品質なサービスの提供
によって、地域での存在感が
最も高い金融グループを創ります。
- 3 健全な財務体質、高い収益力、
経営効率の優位性を持つとともに、
透明性の高い経営を行い、
株主の信頼に応えます。
- 4 産・学・官のネットワークを活用し、
様々なマッチングを通して、
『地域との共生』を進めます。
- 5 法令やルールを厳守し、
環境に配慮した企業活動を行うこと
によって、社会からの信頼向上に
努めます。
- 6 グループ行員に、自由闊達に能力を
発揮した能力向上を図れる職場を
提供するとともに、よき市民としての
成長を支援していきます。

ごあいさつ

平素より池田泉州ホールディングスグループをお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

昨今、大きな問題となっております、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は留まることなく、日本国内のみならず世界規模で生産と消費の停滞が問題となっております。私どもの営業エリアである大阪府・兵庫県も緊急事態宣言の対象になるなど、経済・社会活動に多大な影響を与えておりますが、このような時こそ、私どもは、我々の使命である地元のお取引先企業への資金繰り支援、決済機能の維持に向けて役職員一同全力で取り組み、皆さまとともにこの苦境の時期を乗り越えたいと考えております。

さて、池田泉州ホールディングスの2019年度業績と経営戦略でございますが、弊社では2018年度～2020年度までの3年間を第4次中期経営計画の体質強化期間と位置付け、『第1の矢』有価証券の含み損の処理(2018年度完了)、『第2の矢』店舗体制の見直し・経費の抜本的な削減(2019年度完了)を進めてまいりました。この改革は着実に進んでおり、本業利益は2018年度より黒字に転化、2019年度も計画を大きく上回る形で着地することができました。

先に述べました新型コロナウイルス感染症の拡大に起因する、株式相場の乱高下や信用コスト増加などの利益引き下げ要因もありましたが、有価証券運用を最小限に抑制していたこともあり、2019年度の当期純利益は計画比▲1億円の39億円、ほぼ計画どおりの着地となりました。

本年5月、私どもは、新たな経営ビジョンとして、『第3の矢』『Vision'25』を打ち出しております。これは2025大阪・関西万博に向けた私どもの大きな方向性を示したもので、店舗・チャネル体制のさらなる変革や経営資源の適正配分、戦略的な人材強化策から着手し、生産性の革新を図ります。

私どもは、地域の皆さまとともに足元の困難な状況乗り越え、このビジョンの実現に向けて役職員一同全力で取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご愛顧とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

池田泉州ホールディングス
取締役社長兼CEO

鵜川 淳

第4次中期経営計画の進捗

2018年

5月

合併10周年

2020年

2021年

大阪・関西万博

2025年

SDGs

2030年

第4次 中期経営計画

第5次 中期経営計画

第1の矢

第2の矢

第3の矢

有価証券含み損の 抜本的な処理

2018年度完了

純投資の含み損益は、**+17** 億円

2018年度実績

- ▶ 外債処理は、前倒しで中計目標以上を達成、含み損益はプラスに
- ▶ 有価証券投資を抑制し、地域のお客さまとの取引（本業）を強化

- ▶ 将来に向けた体質強化を確実なものとするために、利益・配当水準を抑制し、構造改革を更に推進

店舗体制の見直しと お客さま本位の業務運営の追求

2019年度ほぼ完了

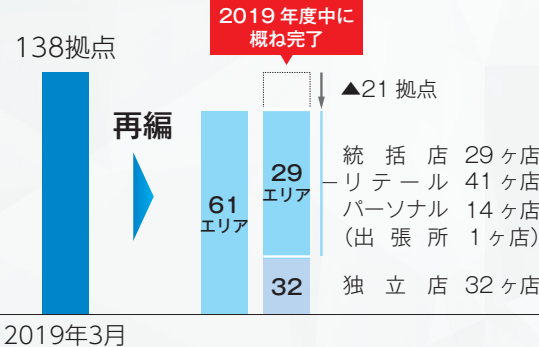
当初中計で計画していたブロック制を中心とした店舗体制から、店舗内店舗・エリア制[※]による店舗体制に見直し規模を拡大

※エリア制：複数店の融資業務をエリア統括店に集約

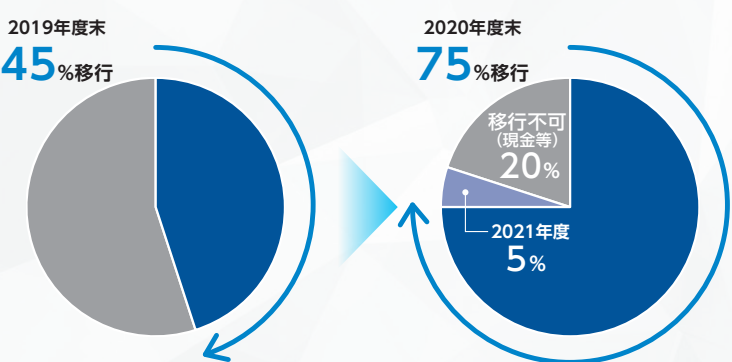
2019年度実績

- ▶ 店舗内店舗（21ヶ店中20ヶ店完了）
- ▶ エリア制導入（29エリア）
84ヶ店の人員（営業/融資）を29エリア（リテール41・パーソナル14）に集約し、効率化
- ▶ 営業店事務のセンター集中拡大

拠点数



窓口業務のタブレット化



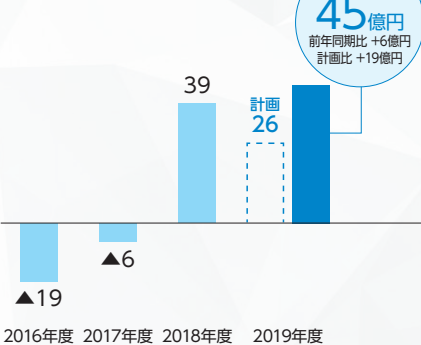
次の10年を睨み、2025年大阪・関西の飛躍の年に向けて
当社グループのありたい姿として「Vision'25」を策定

徹底したソリューションで地域の皆さまのお役に立ち、
自らのポテンシャルを引き上げていくことで、
誰もが安心して輝ける未来社会づくりに貢献します。

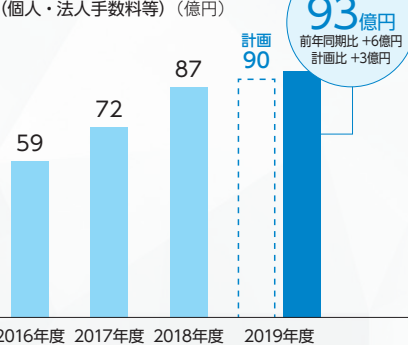
p.5-6

業績High Light 第4次中期経営計画の進捗

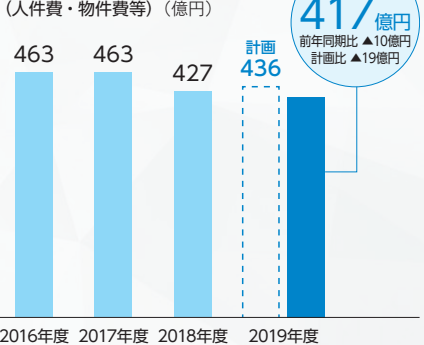
本業利益（億円）



非金利収益
（個人・法人手数料等）（億円）



経費削減の進捗
（人件費・物件費等）（億円）



（億円）		2018	2019	2020	中計		Post 第4次中計
					コロナ前 見直し	コロナ 影響後	
当期純利益	実績（予想）	61	(40) → 39	(57)	(57)	(40)	(80程度)
本業利益	実績（予想）	39	(35) → 45	(37)	(44)	(34)	
体質強化コスト （▲）	B/S問題（有証含み損処理）	92	(31) → 31	(0)	(0)	(0)	
	（店舗減損費用）	19	(9) → 5	(3)	(1)	(1)	
	P/L問題（与信費用）	23	(29) → 25	(31)	(31)	(40)	

- ▶ 2019年度で、体質強化はほぼ完了
- ▶ 2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を勘案し、保守的な利益見通しに変更

当社グループのありたい姿「Vision'25」を策定

Vision'25

徹底したソリューションで地域の皆さまのお役に立ち、自らのポテンシャルを引き上げていくことで、誰もが安心して輝けるような未来社会づくりに貢献します。

基本方針

- 1. お客様のさまざまな課題を知り、お客様の視点に立って、最適なソリューションを的確にご提供します
- 2. お客様の信頼にお応えすることで、やりがいを感じ自らも成長し、職員が多様な活躍が出来る職場を創ります
- 3. 事業活動を通じて、地域社会の持続的な発展と地域の皆さまの安心で豊かな暮らしづくりに貢献します

》 将来の社会課題・お客様ニーズと徹底したソリューションビジネス

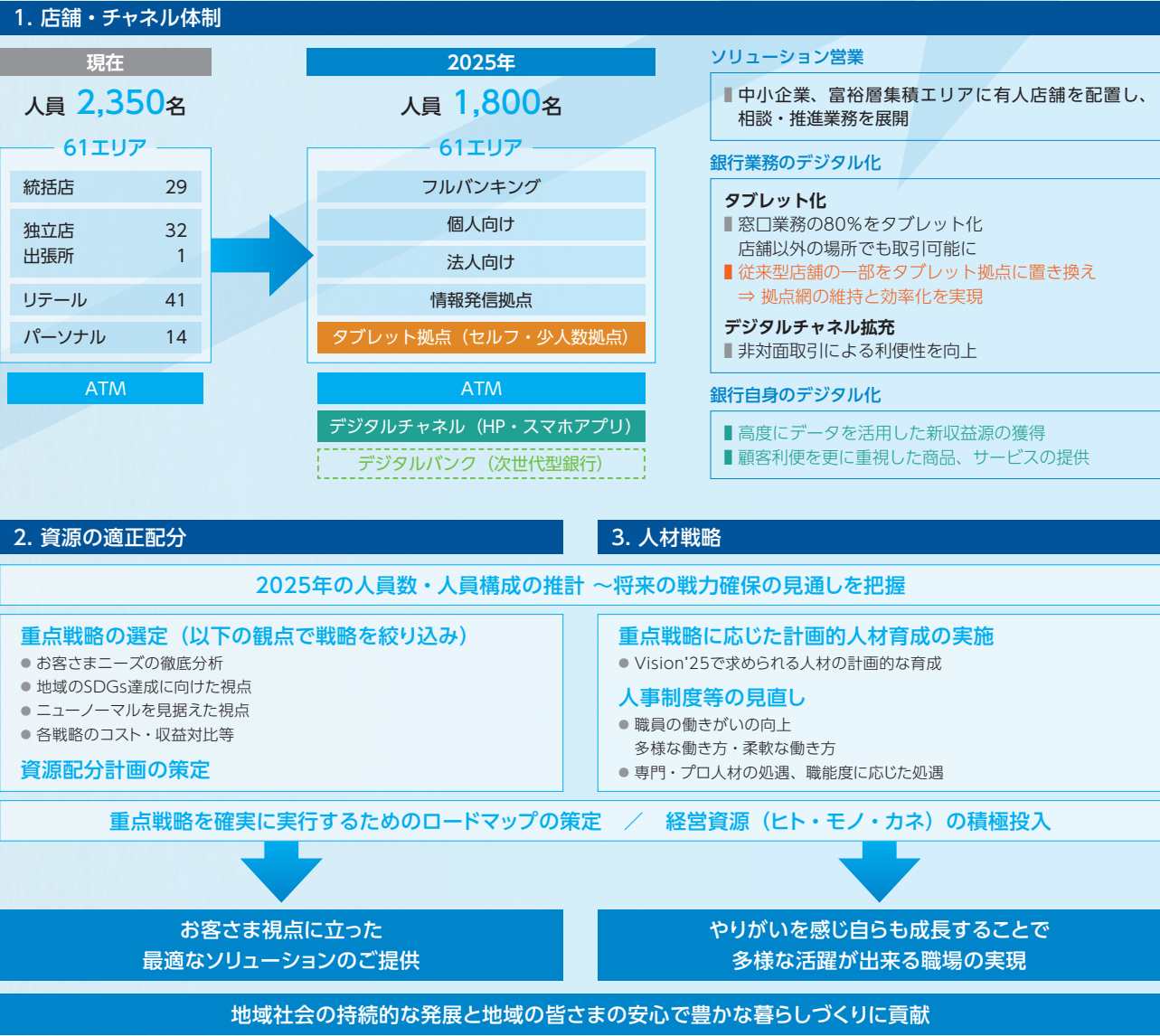


中小企業	人材紹介、M&A・事業承継、事業計画策定、海外ビジネスサポート…
ベンチャー	助成金、イノベーションファンド、販路拡大サポート…
個人	ライフプランコンサル、ウェルスマネジメント、高齢者生活サポート…
KPI	ソリューション件数※ 2019年度 4,000件 ⇒ 2025年度 10,000件

※取組ベース

》 Vision'25を支える体制整備

5年先の1,800名※体制を見据えて、店舗・チャンネル体制の再構築や重点戦略への経営資源の適正配分を実施します。
※銀行本体人員



大阪・関西の未来を拓く“Osaka Innovation Meeting”を開催

産学官の連携事業のキックオフとして、2019年12月19日、地域エコシステムを構成する行政／支援機関／地域金融機関／ベンチャーキャピタルとスタートアップ企業によるフューチャーセッションを開催いたしました。

ご参加いただいたスタートアップ企業の皆さま

1 株式会社リモハブ（大阪市北区）
代表取締役CEO 谷口達典氏

医療施設とクラウド経由で繋がることで通院負担なく自宅にいながら無理なく続けられる遠隔管理型の心臓リハビリシステムを開発。

2 株式会社ノビアス（大阪市住吉区）
代表取締役CEO 井上史之氏

毛髪から不足しがちな栄養素を定量的に把握。健康意識を高め、食生活の改善をとおして、生活習慣病予防、健康寿命の延伸に貢献するサービスを提供します。

3 ArchiTek株式会社（大阪市西区）
代表取締役 高田周一氏

AIと画像処理をコンパクト・低消費電力・低コストで実現。IoTとエッジコンピューティングの世界に大変革をもたらす。

4 PaylessGate株式会社（大阪市北区）
代表取締役 足立安比古氏

スマートフォンをカバン等に入れたまま受付が瞬時に完了する電子チケット受付システムの研究開発。

5 ルクサナバイオテック株式会社（吹田市）
代表取締役 佐藤秀昭氏

大阪大学で蓄積された核酸化学技術を基礎とし、安全かつ効果的な核酸医薬品を実用化。

6 株式会社Mountain Gorilla（大阪市西区）
代表取締役 井口一輝氏

手書きの帳票（製造指示書、加工指示書、検査書、チェックシート、日報など）をタブレットやスマートフォン入力に置き換え、業務効率化。



当社グループのベンチャー支援

<第20回>ニュービジネス助成金、<第16回>イノベーション研究開発助成金の募集をしました。
池田泉州銀行グループは引き続きベンチャーを支援してまいります。

名称	第20回ニュービジネス助成金	第16回イノベーション研究開発助成金
対象	新規性・独創性あふれるビジネスプラン	将来の事業化を見据えた研究開発プラン
募集期間	2019年9月2日（月）～11月5日（火）	
助成内容	大賞（1プラン） 300万円 優秀賞（部門毎、複数プラン） 100万円	大賞（1プラン） 300万円 優秀賞（部門毎、複数プラン） 200万円
募集部門	①ものづくり ②ヘルスケア ③ICT ④環境・エネルギー ⑤観光・サービス	
応募資格	関西2府4県に主たる事業所を有する、もしくは今後関西経済圏への進出を計画している企業（大企業を除く）、個人	関西2府4県に主たる事業所を有する企業（大企業を除く）、個人（大学・研究機関等との共同研究も可）
実績（累計）	応募総数 2,201プラン 受賞総数 218プラン 助成総額 約1.6億円	応募総数 908プラン 採択総数 217プラン 助成総額 約4.4億円

★ニュービジネス助成金にオープンイノベーション賞を新設！サポート企業より、事業化に向けたサポート等を提供

当社グループ初の銀行・証券共同店舗 「池田泉州銀行 神戸支店・ 池田泉州TT証券 神戸支店」が リニューアルオープン

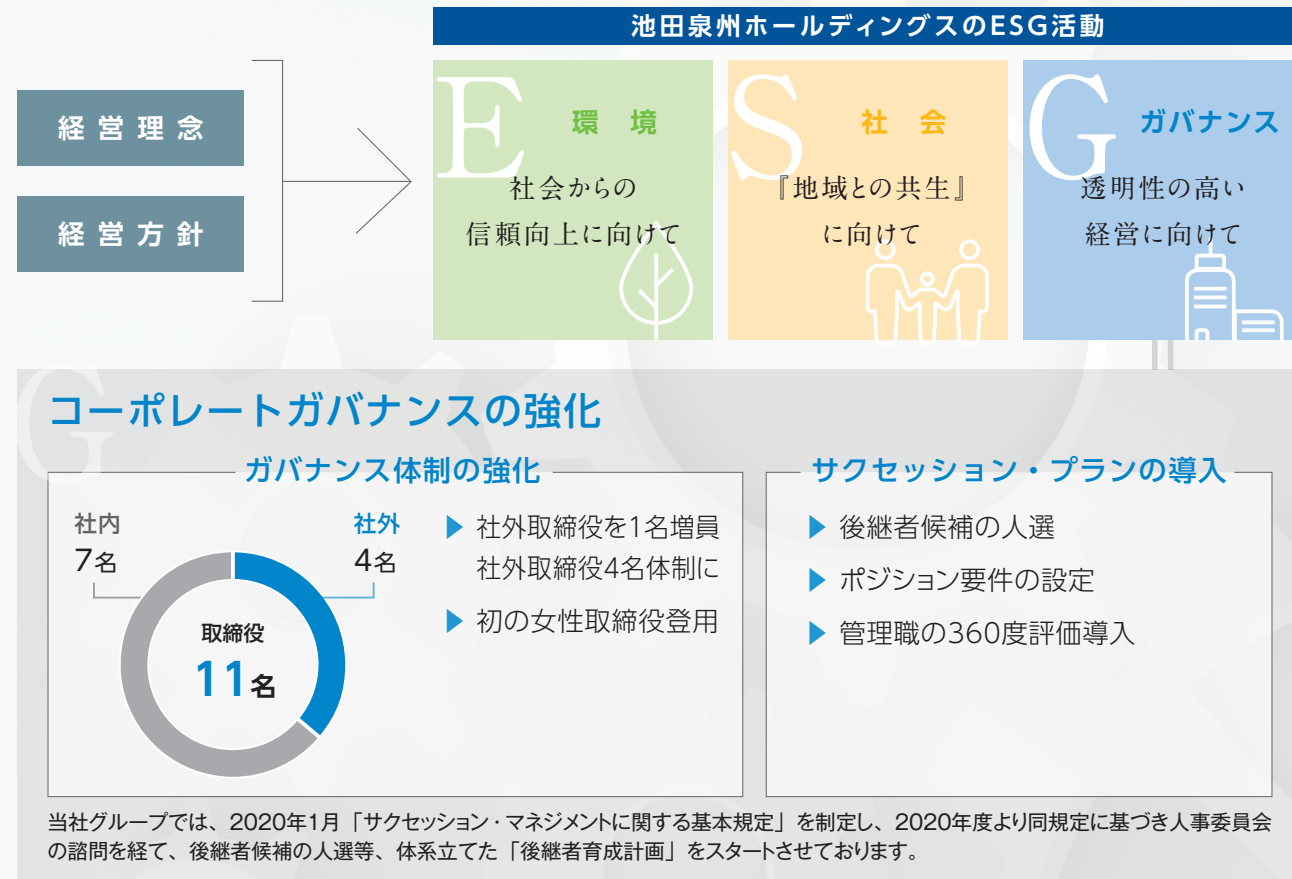
株式会社池田泉州銀行および池田泉州TT証券株式会社は、2020年5月18日（月）に銀行と証券が同一フロアにて営業を行う「共同店舗」をオープンしました。

“人生100年時代”と言われるなか、資産活用や資金運用、相続に関するご相談など、当社グループの総合金融サービスを“ワンストップ”でご利用いただけるようになりました。池田泉州銀行が有する恵まれた顧客基盤と池田泉州TT証券が持つ証券ビジネスに関するノウハウを融合し、お客さまの資産運用ニーズに最適なサービスを提供することで、「地域のお客さまからのご支持 No.1」を目指してまいります。

	池田泉州銀行 神戸支店（移転オープン）	池田泉州TT証券 神戸支店（リニューアルオープン）
所在地	〒651-0096 神戸市中央区雲井通7丁目1番1号 神戸新聞会館13階（ミント神戸） ※池田泉州TT証券神戸支店の所在地変更はございません。	
営業時間	窓口：平日9：00～15：00 ATM ▶ 平日・土日祝 8：00～21：00 ※神戸新聞会館1階（ミント神戸）	
電話番号	078-265-6821	078-242-1131（変更なし）



企業価値の向上を 支えるESG/SDGsへの取り組み



経営理念と経営方針に基づき、ESG/SDGsに取り組むことで、
地域への弛まぬ貢献を続けてまいります。

池田泉州ホールディングスグループの持続可能な開発目標（SDGs）への取り組み

池田泉州ホールディングスグループでは、地域の持続的な成長があって初めて当社グループも成長できるとの考えの下、地域社会のESG/SDGsの解決に積極的に取り組んでまいります。
持続可能な開発目標（SDGs）は、2015年9月の国連サミットで策定された「持続可能な開発目標のためのアジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。



池田泉州ホールディングスのSDGsへの取り組み

池田泉州ホールディングスグループは、経営理念に基づき、事業活動を通じて地域のSDGs達成に向けた取り組みを行うことで、持続可能な地域社会の実現に貢献するとともに自らの持続的な成長に努めてまいります。



『愛される』金融グループと職員の『働きがい』を実現

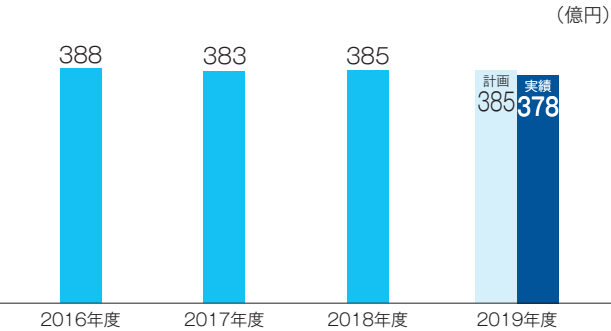
2019年度の業績

■ 業績ハイライト

預貸金収支

378億円

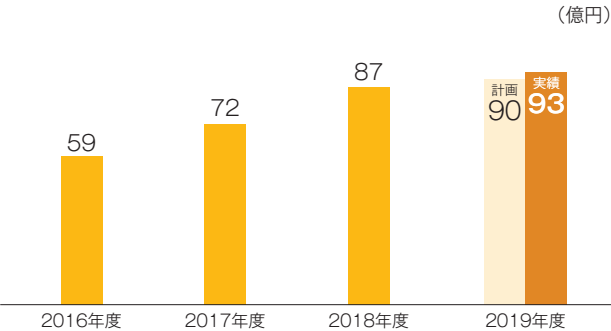
前年同期比
－7億円



非金利収益

93億円

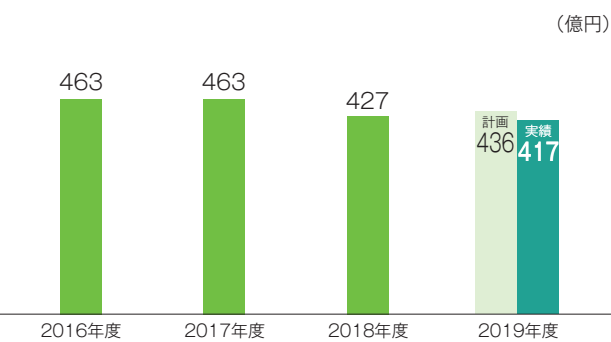
前年同期比
＋6億円



経費削減の進捗

417億円

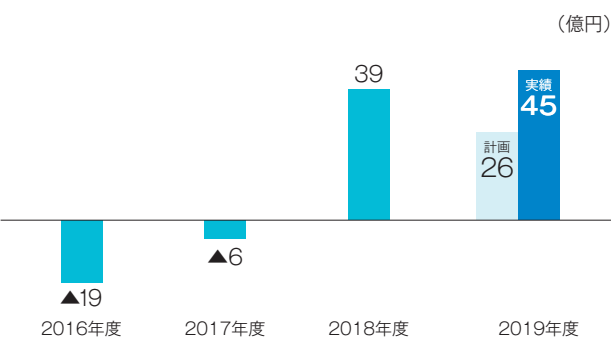
前年同期比
－10億円



本業利益※の状況

45億円

前年同期比
＋6億円



※貸出残高×預貸金利回り差＋役務取引等利益－営業経費

- ▶銀行コア業務純益
- ▶HD連結当期純利益

108億円
39億円

(前年同期比
－0億円)
(前年同期比
－22億円)

連結財務諸表 (池田泉州ホールディングス)

連結貸借対照表 (2020年3月31日現在)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	807,879
コールローン及び買入手形	6,651
買入金銭債権	99
商品有価証券	50
金銭の信託	19,988
有価証券	548,789
貸出金	3,963,504
外国為替	5,468
その他資産	77,889
有形固定資産	38,539
無形固定資産	5,175
退職給付に係る資産	12,587
繰延税金資産	9,104
支払承諾見返	8,210
貸倒引当金	△11,385

(単位：百万円)

科目	金額
(負債の部)	
預金	4,987,885
借入金	209,104
外国為替	556
その他負債	51,320
賞与引当金	1,201
退職給付に係る負債	139
役員退職慰労引当金	4
睡眠預金払戻損失引当金	519
ポイント引当金	183
偶発損失引当金	873
特別法上の引当金	6
繰延税金負債	176
支払承諾	8,210
負債の部合計	5,260,182

(純資産の部)

資本金	102,999
資本剰余金	42,105
利益剰余金	78,839
自己株式	△94
株主資本合計	223,850
その他有価証券評価差額金	5,752
繰延ヘッジ損益	△170
退職給付に係る調整累計額	638
その他の包括利益累計額合計	6,220
新株予約権	79
非支配株主持分	2,223
純資産の部合計	232,373
負債及び純資産の部合計	5,492,555

連結損益計算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで) (単位：百万円)

科目	金額
経常収益	88,221
資金運用収益	44,985
(うち貸出金利息)	(39,291)
(うち有価証券利息配当金)	(5,060)
役務取引等収益	21,731
その他業務収益	6,290
その他経常収益	15,213
経常費用	83,274
資金調達費用	2,655
(うち預金利息)	(1,449)
役務取引等費用	7,450
その他業務費用	8,835
営業経費	47,453
その他経常費用	16,879
経常利益	4,946
特別利益	363
特別損失	267
税金等調整前当期純利益	5,042
法人税、住民税及び事業税	607
法人税等調整額	527
法人税等合計	1,134
当期純利益	3,908
非支配株主に帰属する当期純損失	35
親会社株主に帰属する当期純利益	3,943

株主の皆さまへ

池田泉州ホールディングスは、株主の皆さまとの対話の充実を、重要な経営課題と位置づけております。
株主の皆さまに、当社の業績や日頃の活動などをご説明し、当社への理解を深めていただくとともに、
皆さまからのご意見を経営に生かしてまいります。

株主懇談会

池田泉州ホールディングスでは、株主の皆さまとの対話の場として、「弊社からの近況のご報告」、「外部講師による講演」、「株主の皆さまとの懇話会」からなる株主懇談会を開催しております。



株主懇談会で寄せられた株主さまのお声

株主懇談会では、株主の皆さまから200件以上のご意見・ご要望をいただきました。その中で、特に多かったご意見をご紹介します。

株価株式関連	■ 株価が低すぎて銀行が心配。どこの銀行も厳しいと思うが、しっかり立て直してもらいたい。 ■ 株価が下がっているうえ、配当も半分になるので、今回はぜひ説明を聞きに行こうと思った。 ■ 年15円配当への復配を願う。 ■ 配当は15円まで戻すのか？一度に戻さなくとも徐々にでよいと思う。 ■ 株価の低迷で心配していたが、今日の説明で安心した。株式は長期で保有しようと思う。 ■ 減配したことは残念だが、今日の説明を受けて経営戦略がよくわかった。	中期経営計画	■ 店舗整理をしてスリム化する的评价是できる。 ■ 人件費を含め経費削減は容易ではないのではないか。 ■ 昨年より前向きな説明が多かったと思う。施策が進んでいるように感じた。
		株主優待	■ 優待定期の金利引上げを希望。 ■ 毎年の株主優待を楽しみにしている。
		人事関連	■ 女性の営業担当をもっと増やしたほうが良い。 ■ 競合が多いエリアの中で、人材・営業力が必要。人材育成はどのように行うのか？
店舗商品・サービス	■ 支店では女性に対応してくれており雰囲気が良い。 ■ 支店が少なくなると不便になる。 ■ 近隣店舗がなくなるのは仕方がないが、ATMは残してくれるのか？ ■ 預金口座に対しての手数料はいずれかかるのか？ ■ キャッシュレスの時代がやってきた。銀行の店舗はどういう風になっていくのか？	株主懇談会その他	■ 社長からの説明の時間を長くしてほしい。（マーケットセミナーがメインではない） ■ 色々な策を計画しているが、スピード感をもって取り組んでもらいたい。 ■ このような説明会が12月にあるのはありがたい。（半期状況の把握のため） ■ 株主意見を直接聞いてくれる機会は続けてほしい。大阪万博もあるので、今後も期待しています。 ■ （不祥事について）銀行なので内部管理はしっかりとしてほしい。

株主の皆さまのご意見・ご要望は、経営に役立てていきたいと考えております。
これからもご意見・ご要望があれば、ぜひお寄せください。

株主優待制度のご案内

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えすべく、株主優待制度をご用意しております。
地域ブランド発信の想いを込めて、関西各地で愛されてきた自慢の食材や、長い伝統を誇る地場の名品などを多数取り揃えたカタログギフトの中からお選びいただけます。

とおきの地域特産品等をラインナップ！



※写真はイメージです。

保有株数	保有期間	優待内容	
10,000株以上	3年以上	株主優待カタログ（地域特産品等）	10,000円相当
	3年未満	株主優待カタログ（地域特産品等）	5,000円相当
6,000株以上 10,000株未満	3年以上	株主優待カタログ（地域特産品等）	5,000円相当
	3年未満	株主優待カタログ（地域特産品等）	3,000円相当
2,000株以上 6,000株未満	3年以上	株主優待カタログ（地域特産品等）	3,000円相当
	3年未満	株主優待カタログ（地域特産品等）	2,000円相当
200株以上 2,000株未満	—	株主優待定期預金（0.1%の金利アップクーポン）	

▶継続保有期間3年以上とは、「3月末および9月末時点の株主名簿に同一株主番号で連続7回以上記録されていること」としております。
【例】保有株数10,000株以上、継続保有期間3年以上の株主さまとは、「3月末及び9月末時点の株主名簿に同一株主番号で、保有株数が10,000株以上であることが、連続7回以上記録された株主さま」になります。

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月	同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777
配当金受領 株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日	上場証券取引所	東京証券取引所
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日	各種お手続について、詳しくは三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご照会ください。	
公告掲載方法	電子公告により行います。 ● 公告掲載URL https://www.senshuikeda-hd.co.jp/ （ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合は、産業経済新聞に掲載して行います。）	▶ https://www.tr.mufg.jp/daikou/	
単元株式数	100株		

知りたいことを
わかりやすく！

みんなの学校

ためる
ふやす

かりる

そなえる
のこす



参加費
無料！

途中参加
OK！

新講座
続々登場！

「みんなの学校」は、暮らしとお金にまつわる様々なテーマについて学ぶ場所を、みなさんと一緒につくっていきたいという想いから企画いたしました。今後、お客さまからいただいた声をもとにしたセミナーを企画・案内していきますので、どうぞご期待ください。

「みんなの学校」最新情報はこちら

池田泉州 みんなの学校 検索



会社概要 (2020年3月末日現在)

● 池田泉州ホールディングス

設立日 2009年10月1日
本社所在地 大阪市北区茶屋町
18番14号
資本金 1,029億円
従業員数 105名
上場取引所 東京証券取引所

● 池田泉州銀行

設立日 1951年9月1日
本社所在地 大阪市北区茶屋町
18番14号
資本金 613億円
預金 5兆76億円
貸出金 3兆9,835億円
店舗数 139カ店
従業員数 2,346名
格付 日本格付研究所 A-

● 池田泉州T T証券

設立日 2013年1月30日
本社所在地 大阪市北区茶屋町
18番14号
資本金 12億5,000万円
預り資産残高 1,197億円
店舗数 5カ店
従業員数 117名

＜池田泉州ホールディングス 取締役・監査役＞ (2020年6月25日現在)

代表取締役会長 太田 享之
代表取締役社長兼CEO 鵜川 淳
取締役 前野 博生
取締役 細見 恭樹
取締役 井上 慎治

取締役 和田 季之
取締役 平井 博将
取締役(社外) 古川 実
取締役(社外) 小山 孝男
取締役(社外) 山澤 俱和
取締役(社外) 小笠原 敦子

監査役(常勤) 川上 晋
監査役(常勤) 北川 智司
監査役(社外) 佐々木 敏昭
監査役(社外) 森信 静治
監査役(社外) 中西 孝平